

2007年3月期決算説明会

経常利益119億円 中計の利益目標を前倒しで達成

2007年5月24日

JUKI株式会社

取締役社長 中村 和之

Mind & Technology

JUKI
Mind & Technology

目次

第1部 07/3期(06年度)業績

1. 07/3期(06年度)決算のポイント	3
2. 07/3期(06年度)業績	4
3. 主要財務指標	6
4. キャッシュフロー(営業・投資)	7
5. 負債資本倍率	8
6. 主要財務指標改善状況	9

第2部 07/3期(06年度)

セグメント別業績

1. セグメント別業績	11
2. 工業用マシン事業	13
3. 産業機器事業	16
4. 家庭用マシン事業	19
5. 電子・精密機器事業	21
6. その他事業	22

第3部 08/3期(07年度)事業計画

1. 事業計画のポイント	24
2. 開発投資	25
3. 設備投資	26
4. 家庭用マシン事業の再構築	27
5. 08/3期(07年度)業績予想	30
6. セグメント別業績予想	31
7. 中計との業績予想比較	33
8. 株主還元のお考え方	35

第1部

07/3期(06年度)業績

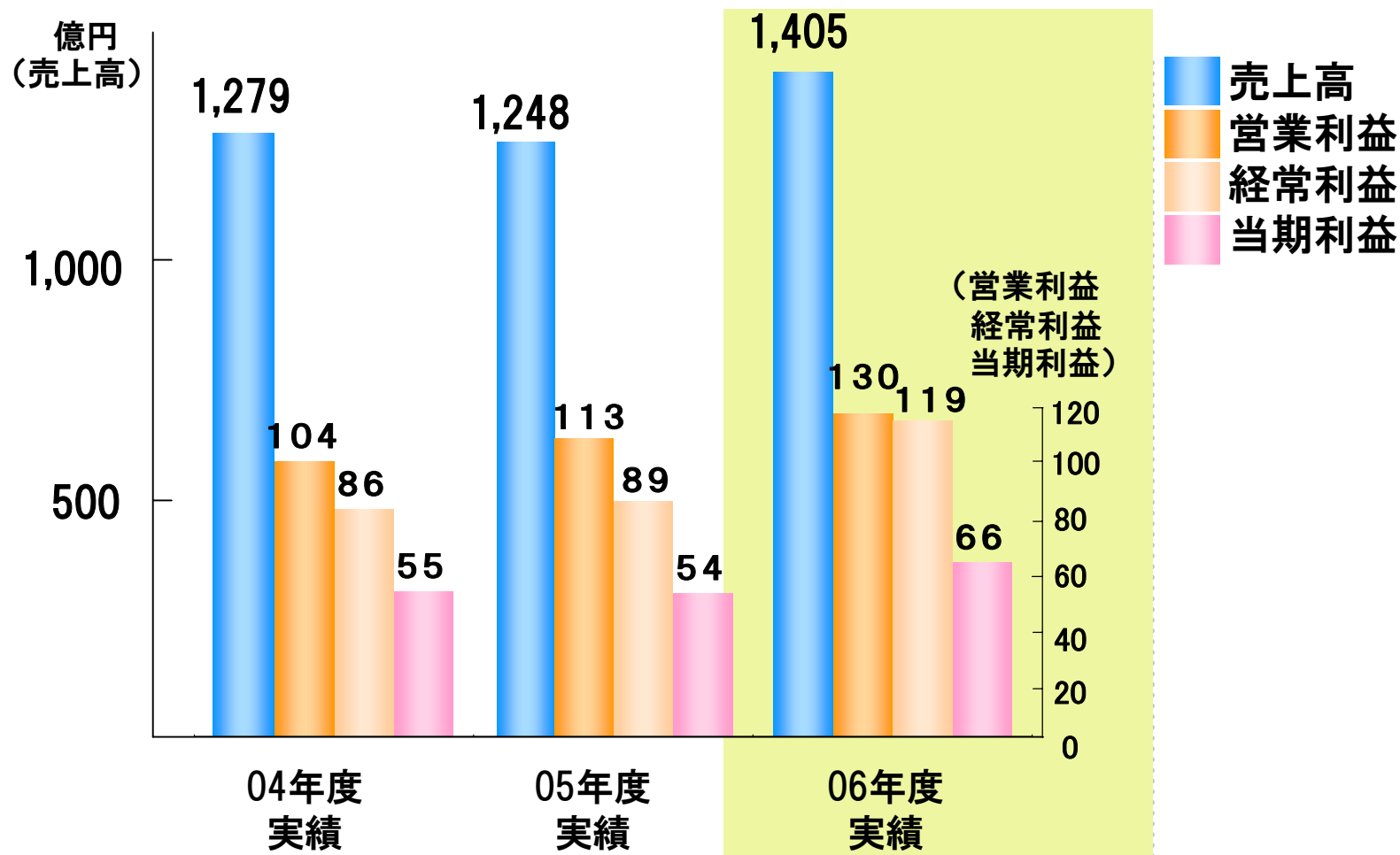
営業利益・経常利益ともに3年連続で最高益を更新

1. 売上高は、工業用マシン、産業機器が好調
2. 営業利益は、15.3%増。工業用マシン、産業機器、電子・精密機器は過去最高益。家庭用マシンは赤字が拡大。経常利益も34.6%増で、100億円を初めて突破
3. 有利子負債は380億円以下に縮小。純資産は更に積み上がり、335億円に

全ての項目で前年比大幅増

単位:百万円

	04年度 実績	05年度 実績	06年度 実績	05年度比 増減	05年度比 増減率
売上高	127,949	124,788	140,497	+15,709	+12.6%
営業利益	10,441	11,266	12,995	+1,729	+15.3%
経常利益	8,646	8,890	11,962	+3,072	+34.6%
当期純利益	5,523	5,369	6,594	+1,225	+22.8%

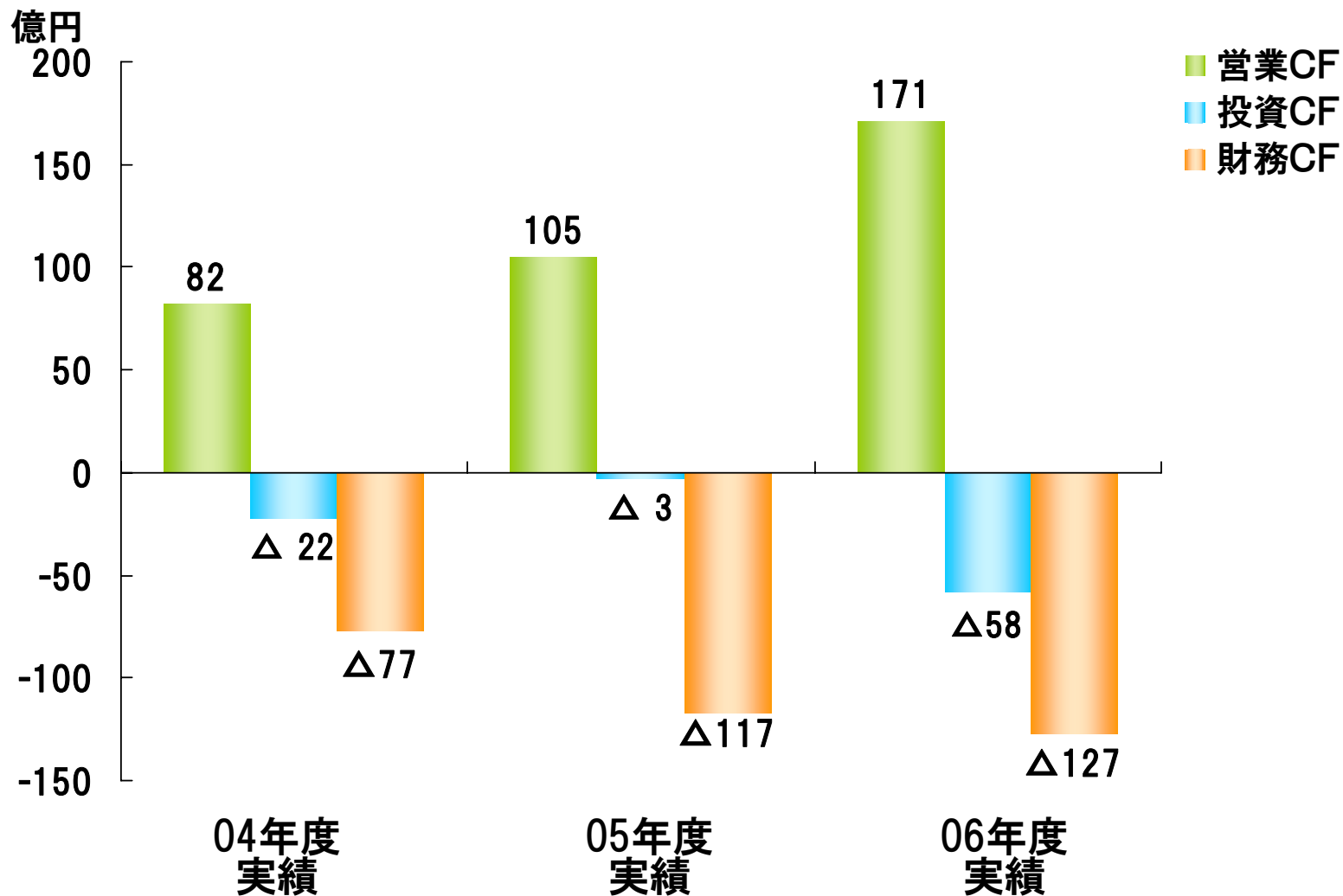


総資産は前年比0.9%増ながら、総資産回転率・自己資本比率はともに改善

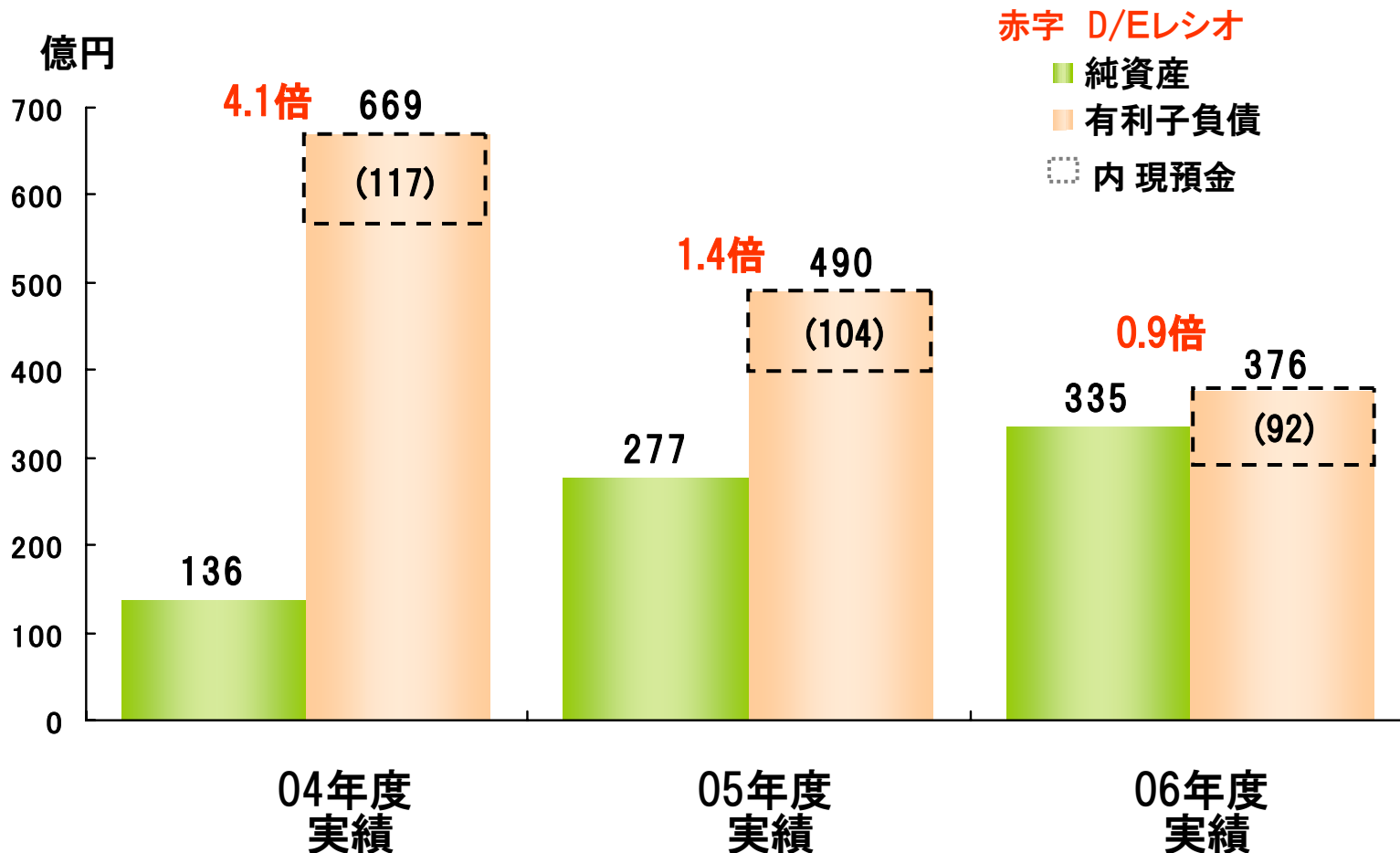
単位：百万円

	04年度 実績	05年度 実績	06年度 実績	05年度比 増減	05年度比 増減率
総資産	115,916	113,923	114,943	+ 1,020	+0.9%
(総資産回転率)	(1.1回)	(1.1回)	(1.2回)	(+0.1回)	—
有利子負債	66,877	48,979	37,616	△11,362	△23.2%
純資産	13,566	27,745	33,458	+5,713	+20.6%
(自己資本比率)	(11.7%)	(24.4%)	(29.1%)	(+4.7%)	—

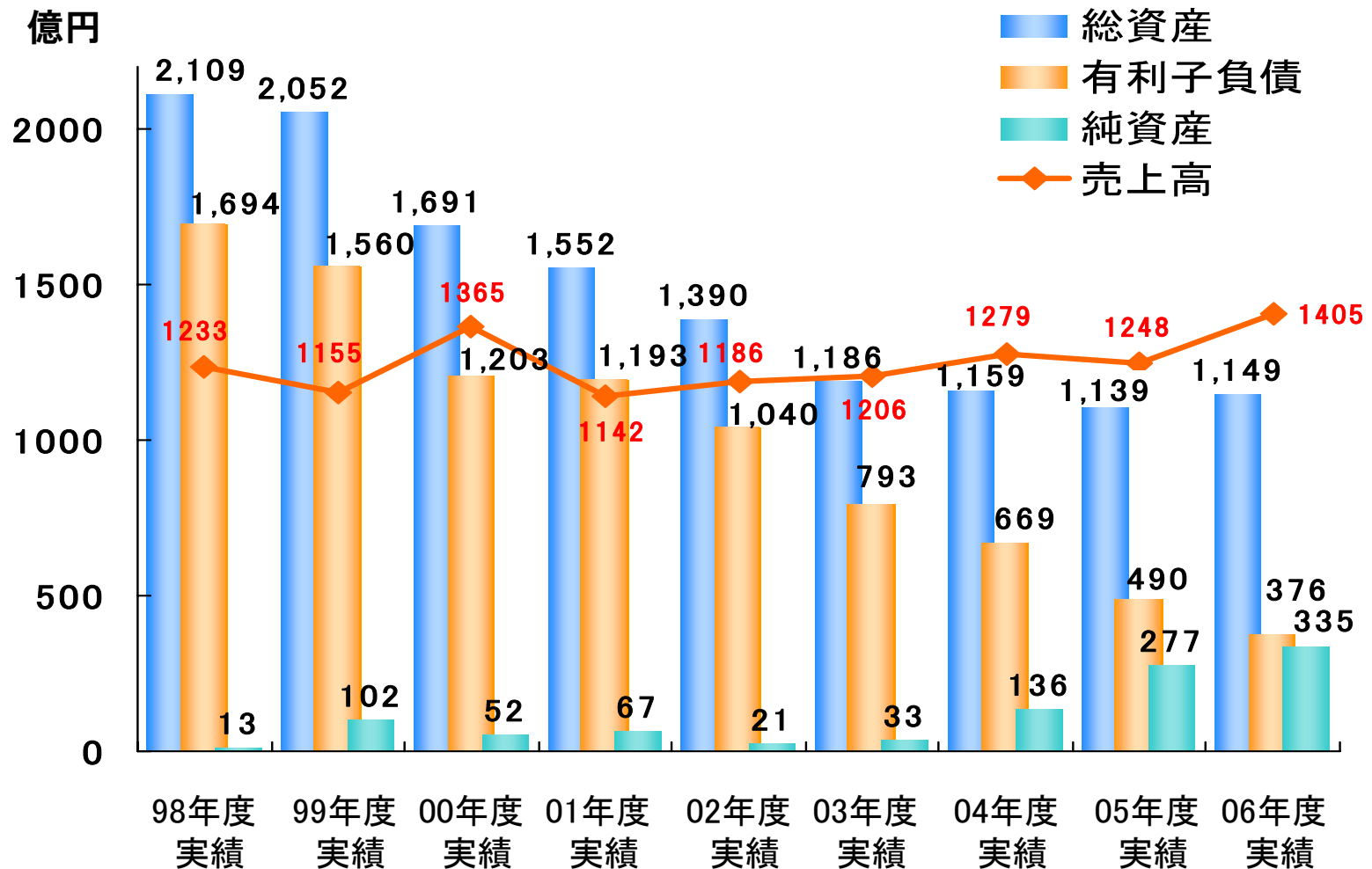
営業キャッシュフローが順調に増加



純資産が順調に増加。有利子負債は大幅に減少。
D/Eレシオは0.9倍に



有利子負債はピーク時の1/4以下に。純資産も増加し、財務体質は大幅に改善



第2部
07/3期(06年度)
セグメント別業績

工業用マシン、産業機器は大幅増伸。訪問販売の縮小により、家庭用マシンとその他は減収

単位:百万円

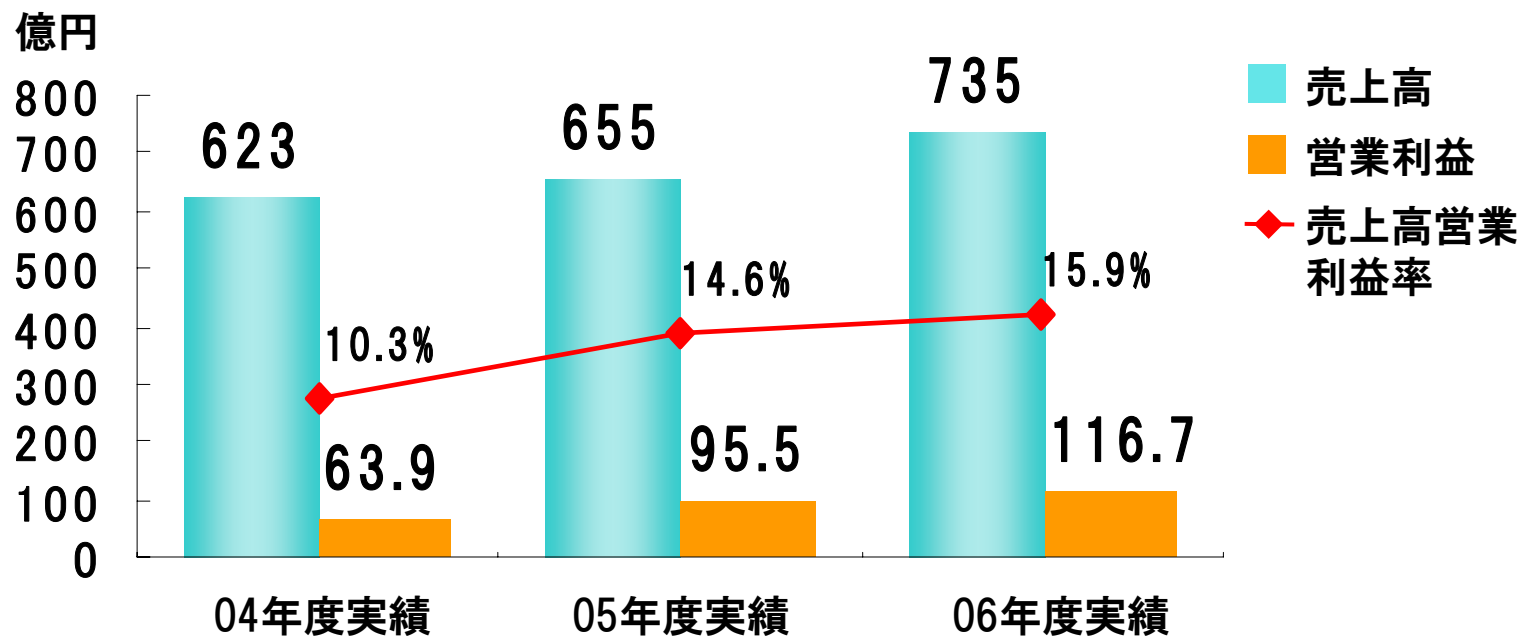
	04年度 実績	05年度 実績	06年度 実績	05年度比 増減	05年度比 増減率
工業用マシン	62,343	65,475	73,459	+7,984	+ 12.2%
産業機器	22,568	21,290	31,388	+10,098	+ 47.4%
*家庭用マシン	12,545	10,510	8,599	△1,911	△18.2%
電子・精密機器	14,712	14,799	16,704	+1,905	+ 12.9%
*その他	15,779	12,711	10,345	△2,366	△18.6%
売上高合計	127,949	124,788	140,497	+15,709	+ 12.6%
*うち訪問販売 の合計	15,161	12,285	8,344	△3,941	△32.1%

工業用マシン、産業機器は大幅増益。訪問販売の縮小と開発投資の増加により、家庭用マシンの赤字が拡大

単位：百万円

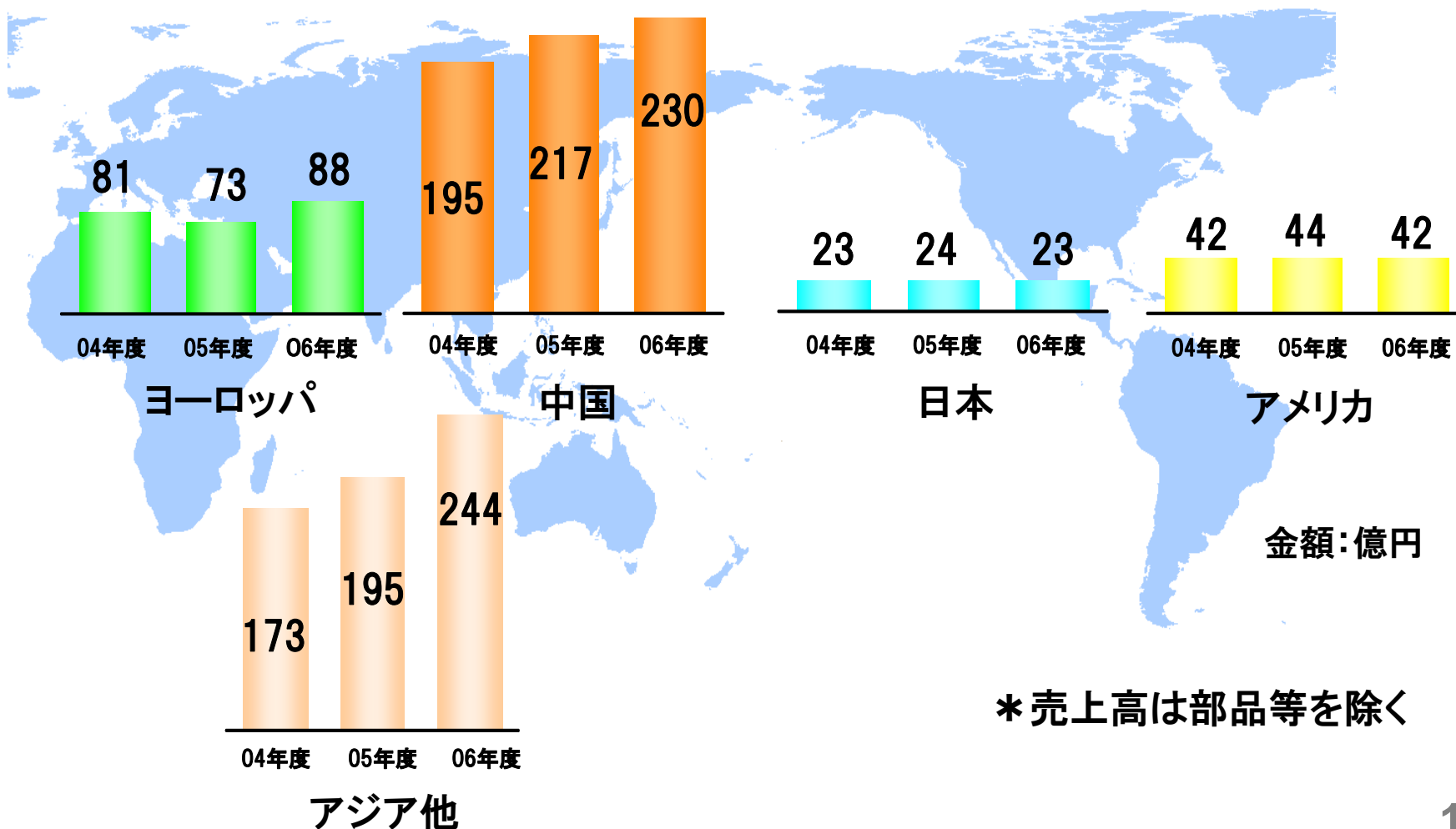
	04年度 実績	05年度 実績	06年度 実績	05年度比 増減	05年度比 増減率
工業用マシン	6,394	9,549	11,670	+2,121	+22.2%
産業機器	1,096	1,011	2,922	+1,911	+189.0%
*家庭用マシン	665	△76	△1,458	△1,382	—
電子・精密機器	1,734	1,732	1,828	+96	+5.5%
*その他	1,393	242	△209	△451	△186.4%
(消去)	△842	△1,193	△1,758	△565	+47.4%
営業利益合計	10,441	11,266	12,995	+1,729	+15.3%
*うち訪問販売 の合計	1,516	110	△517	△627	—

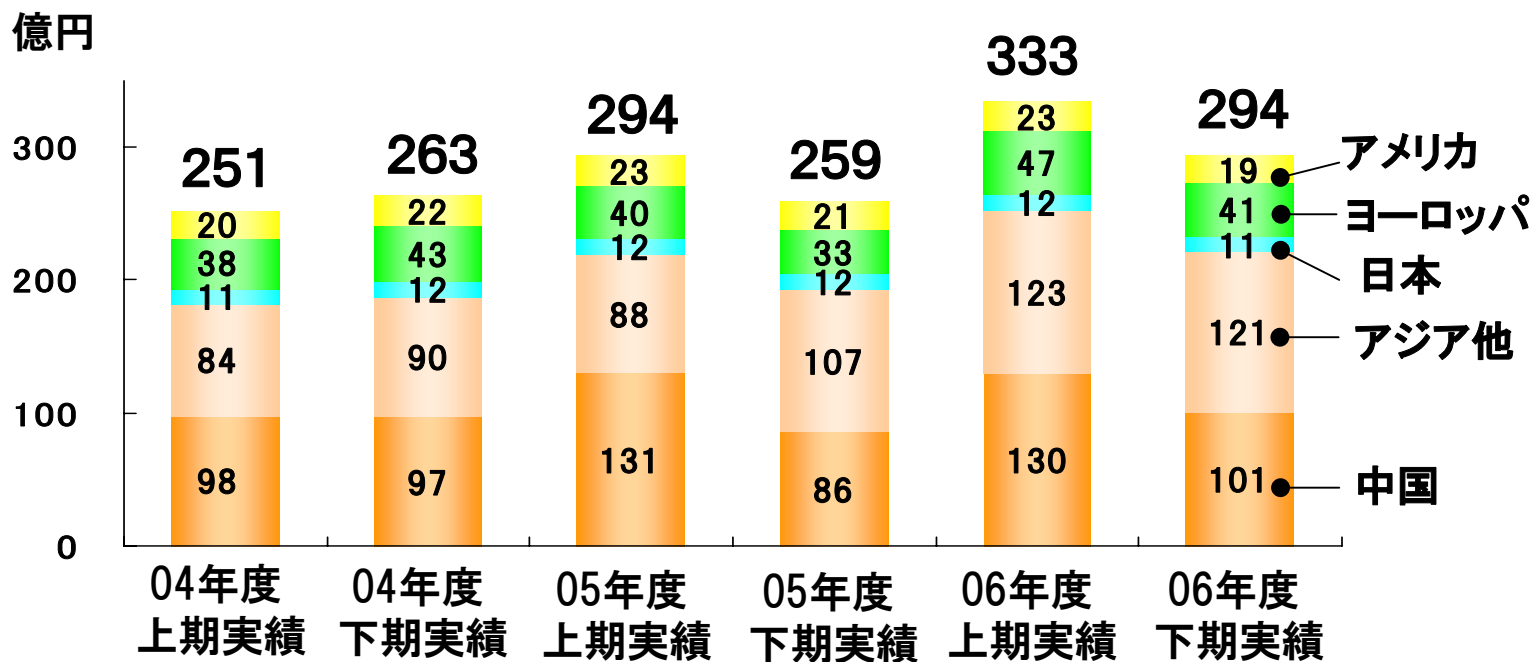
売上高・営業利益とも増加



アジア地区を中心に販売数量が増伸、売上高は700億円を突破。円安・コストダウンもあって営業利益率も向上

アジア、中国で売上高が拡大

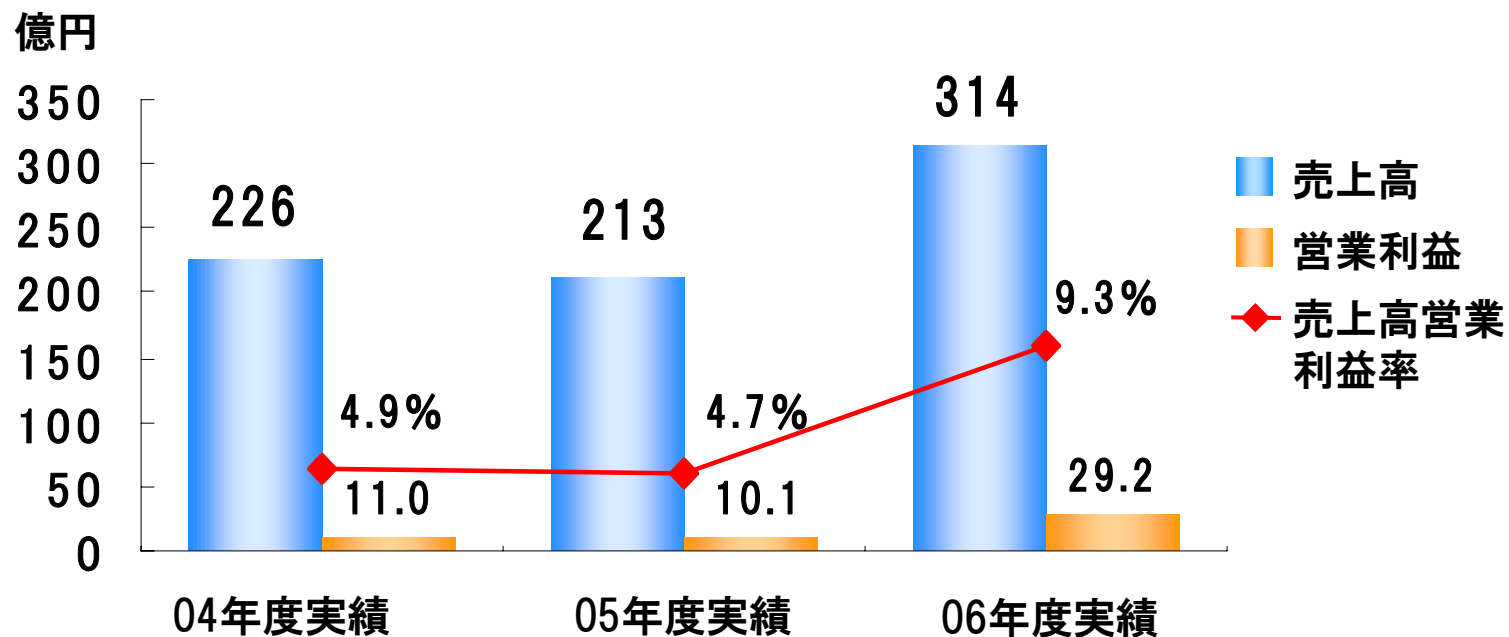




* 売上高は部品等を除く

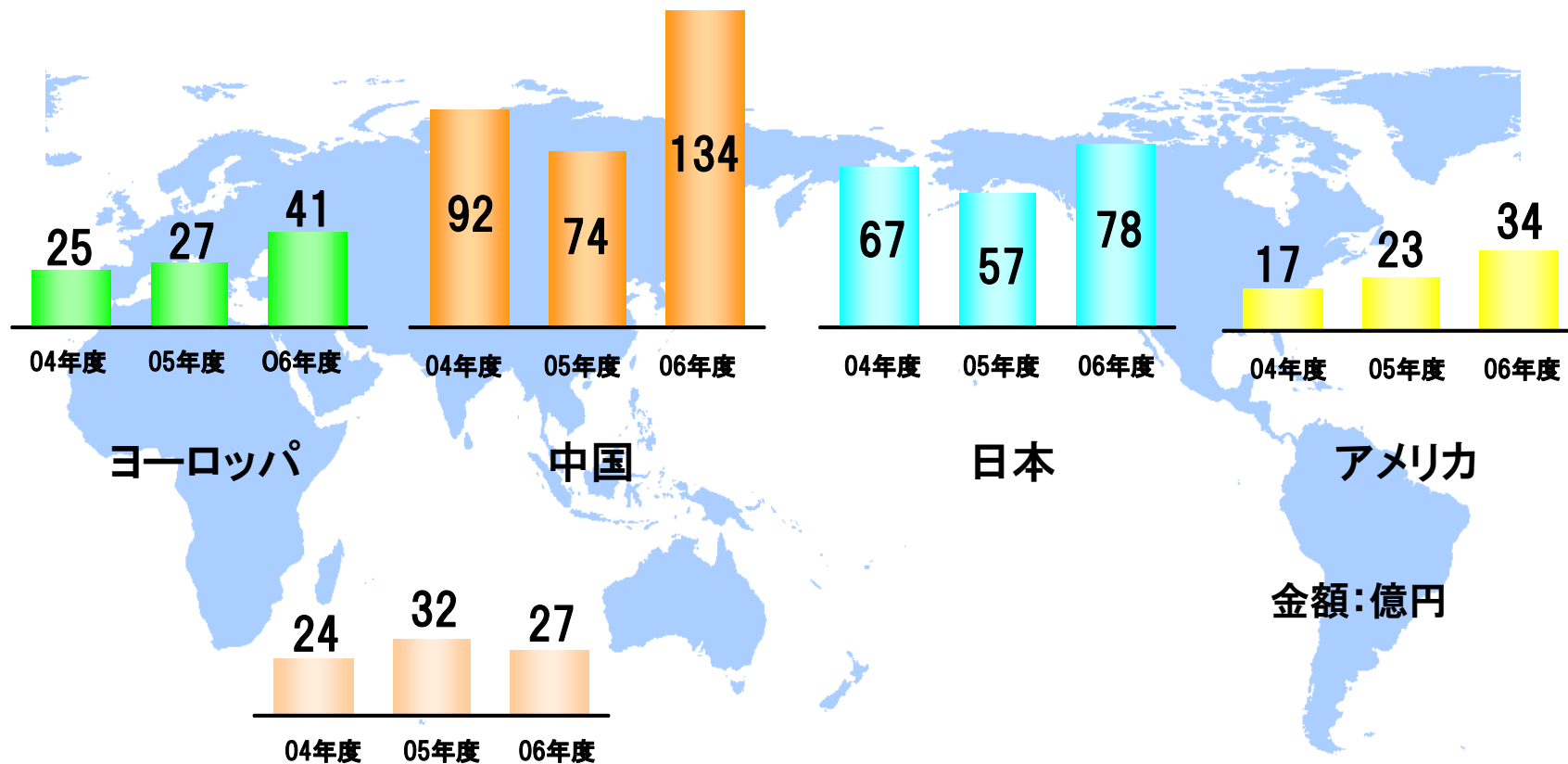
拡大を続けたアジアが下期に微減。中国の下期減少幅は前年よりも縮小

売上高、営業利益とも大幅に増加

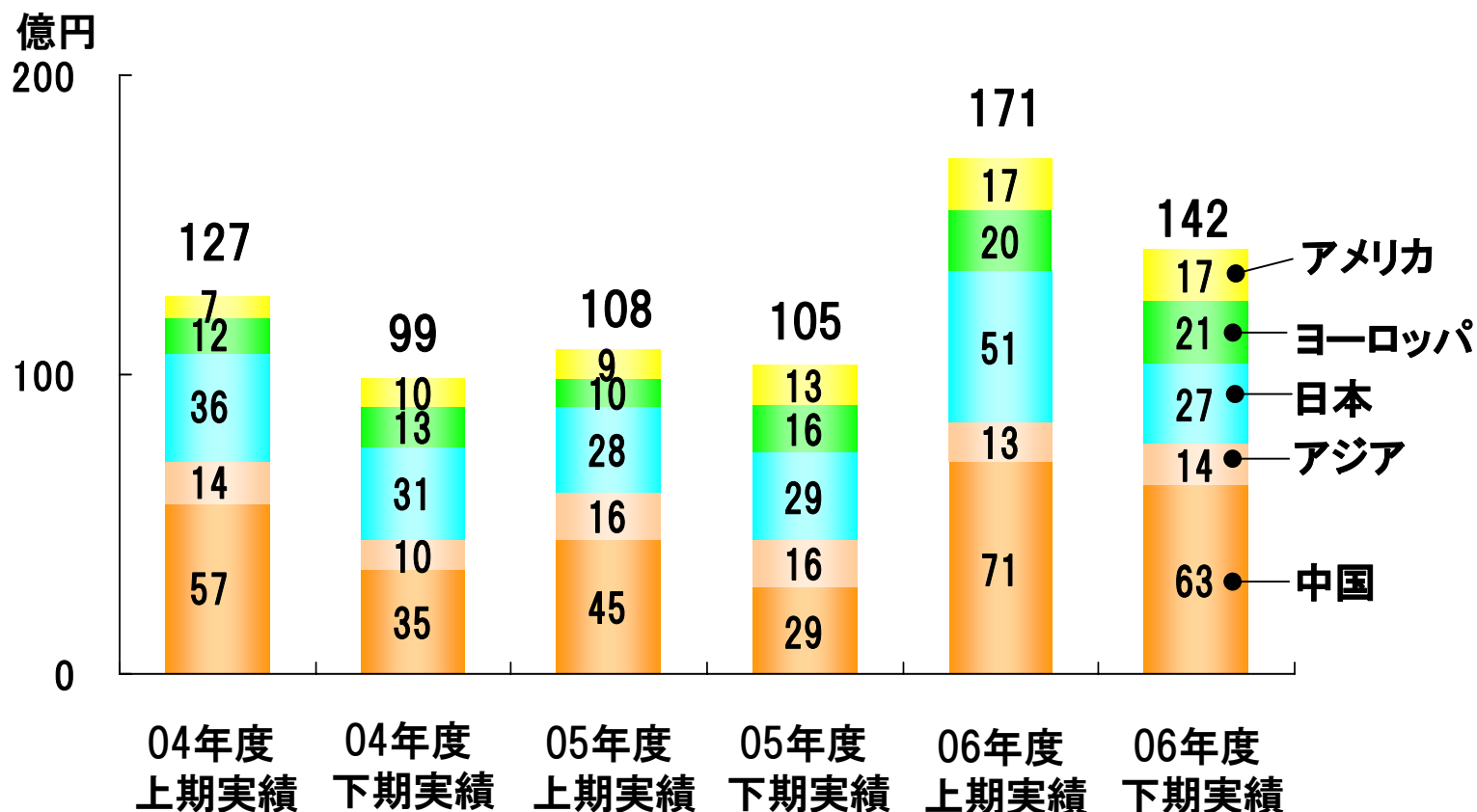


売上高は300億円を突破。営業利益も2.9倍に増伸

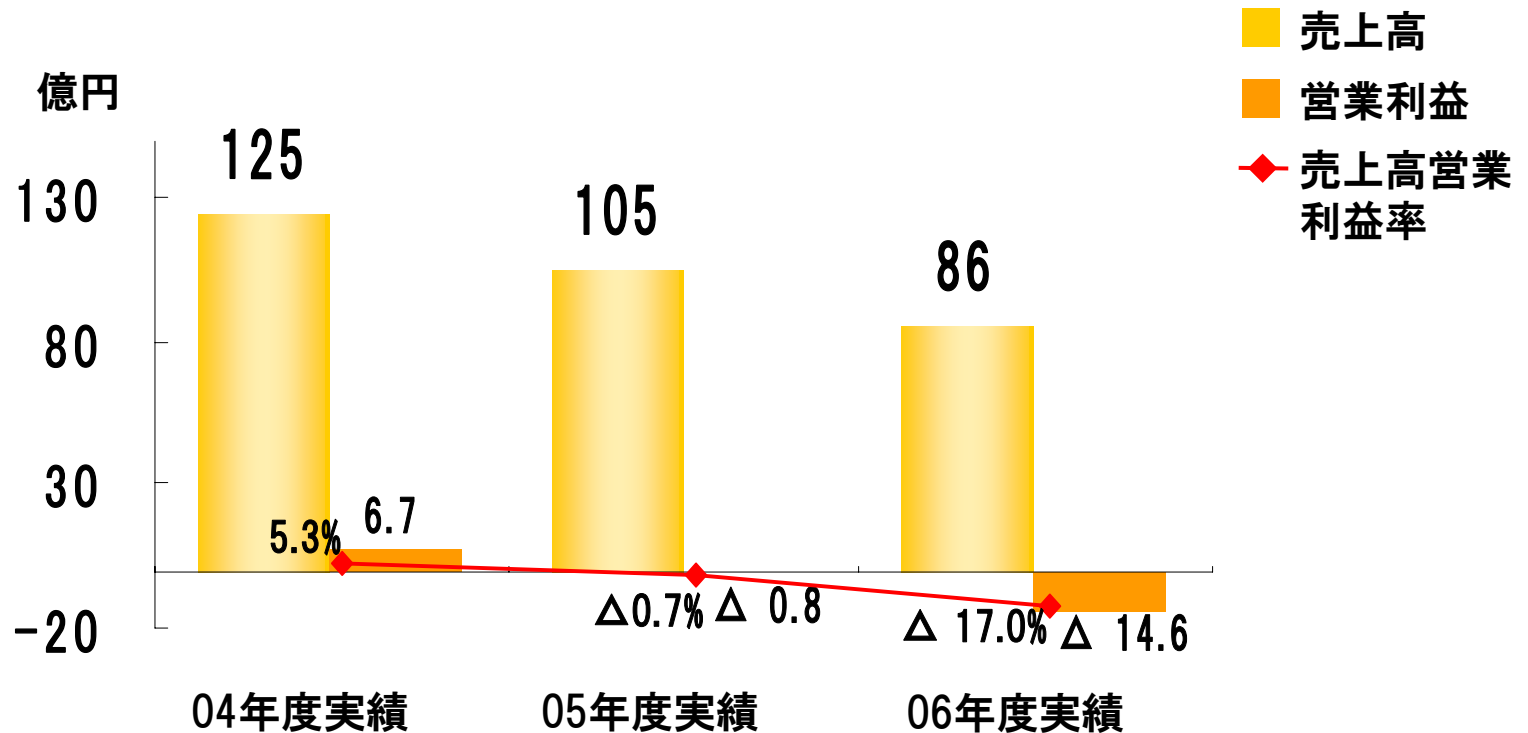
中国は販売体制の強化を背景に前年比82%増。地域別比率も43%に拡大



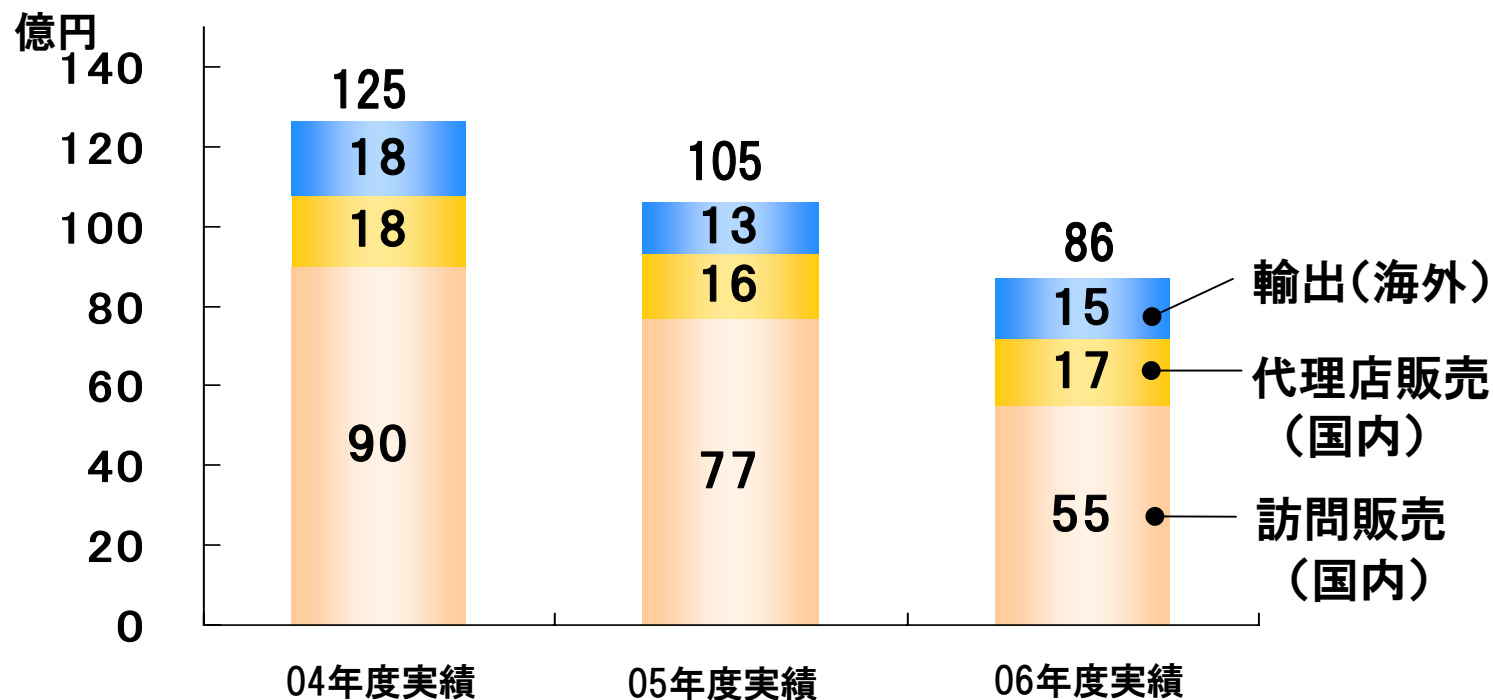
上期は日本・中国の大口商談が寄与



訪問販売体制の縮小により売上高は100億円未滿に。
 営業利益の赤字幅も拡大

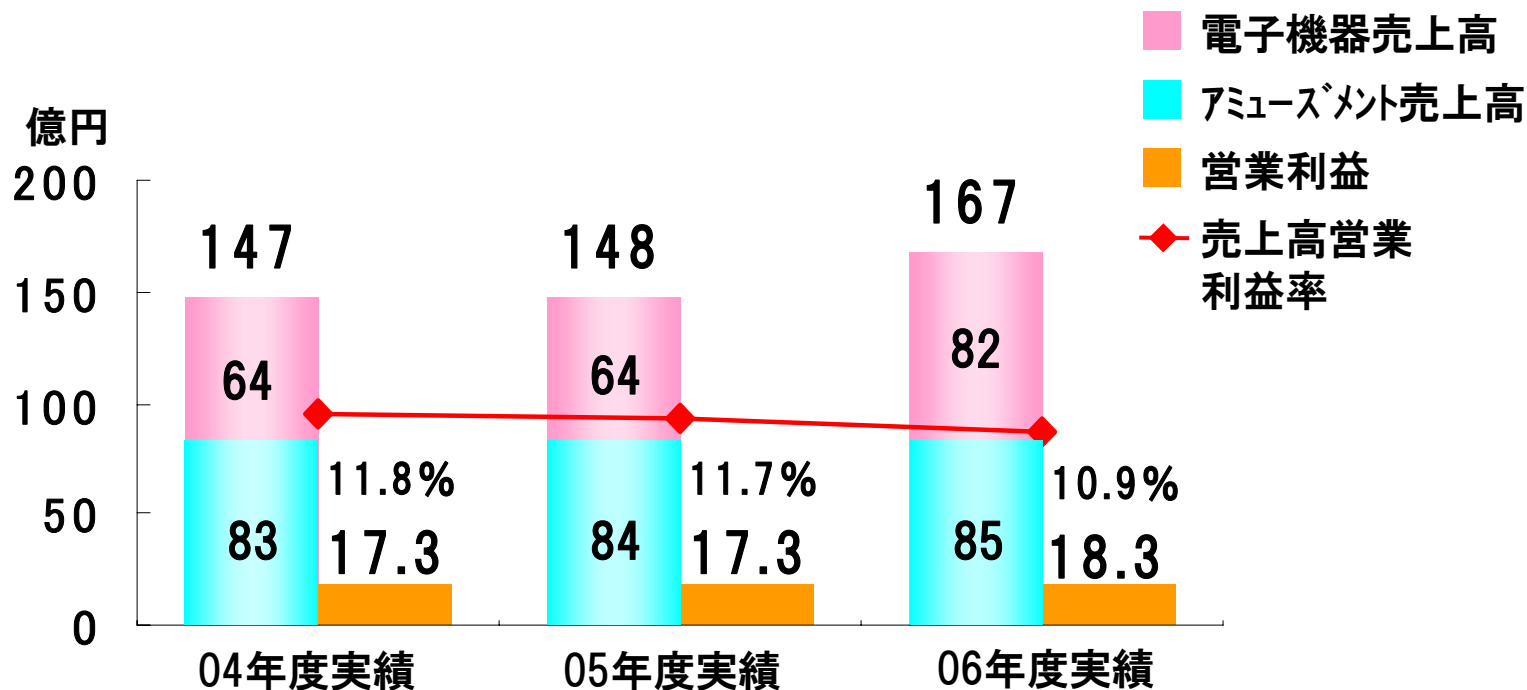


訪問販売依存からの脱却を目指し、訪問販売体制を縮小。開発投資の拡大もあって、営業赤字が拡大

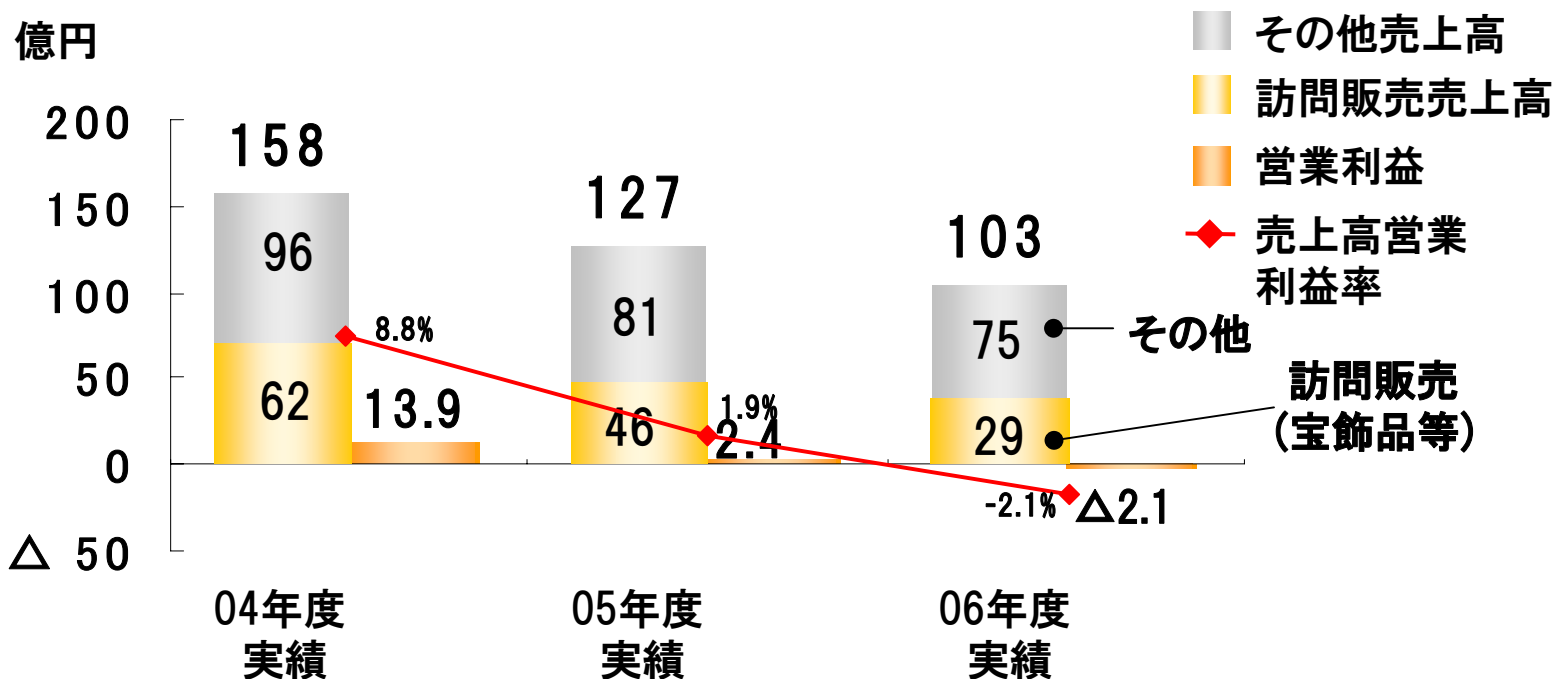


輸出、国内代理店販売も伸び悩み、訪問販売の売上減をカバーできず

大口商談が寄与し、電子機器の売上高が拡大



宝飾品等の訪問販売売上が大きく減少。営業利益も赤字に



第3部

08/3期(07年度)事業計画

中計の最終年度かつプレ70周年の年。成長投資(開発・設備・販売)の拡大と家庭用ミシン事業再構築を推進

【開発投資】

- 開発投資は、前年比15%以上のペースで増加

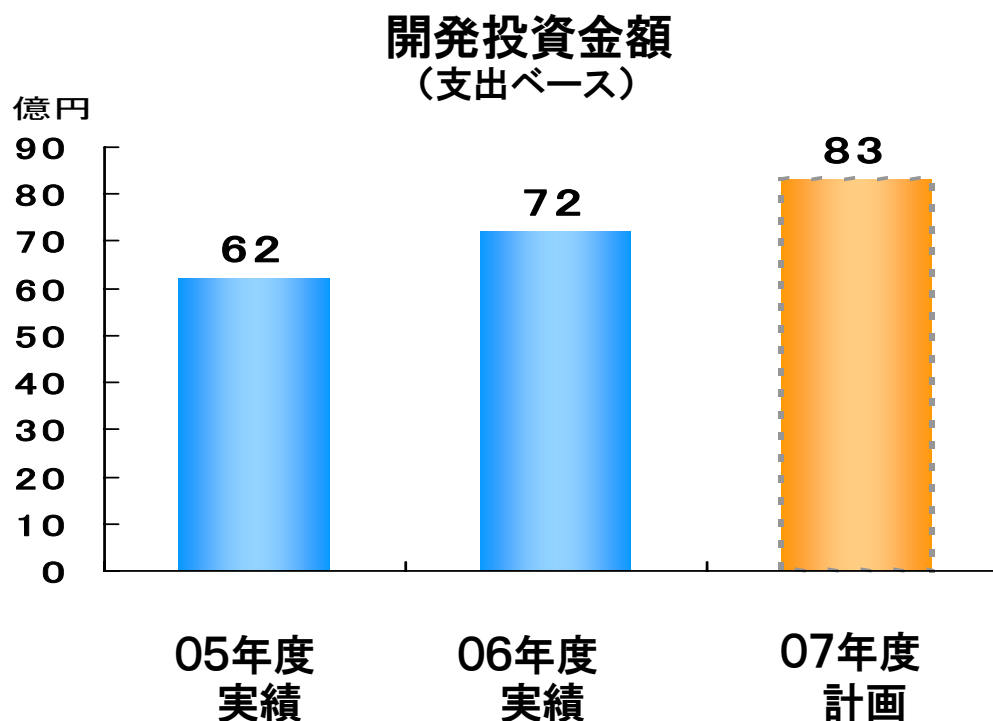
【設備投資】

- 海外生産拠点投資は一段落
- 国内生産拠点投資を拡大
- 新社屋(開発棟等)建設工事に着手

【家庭用ミシン】

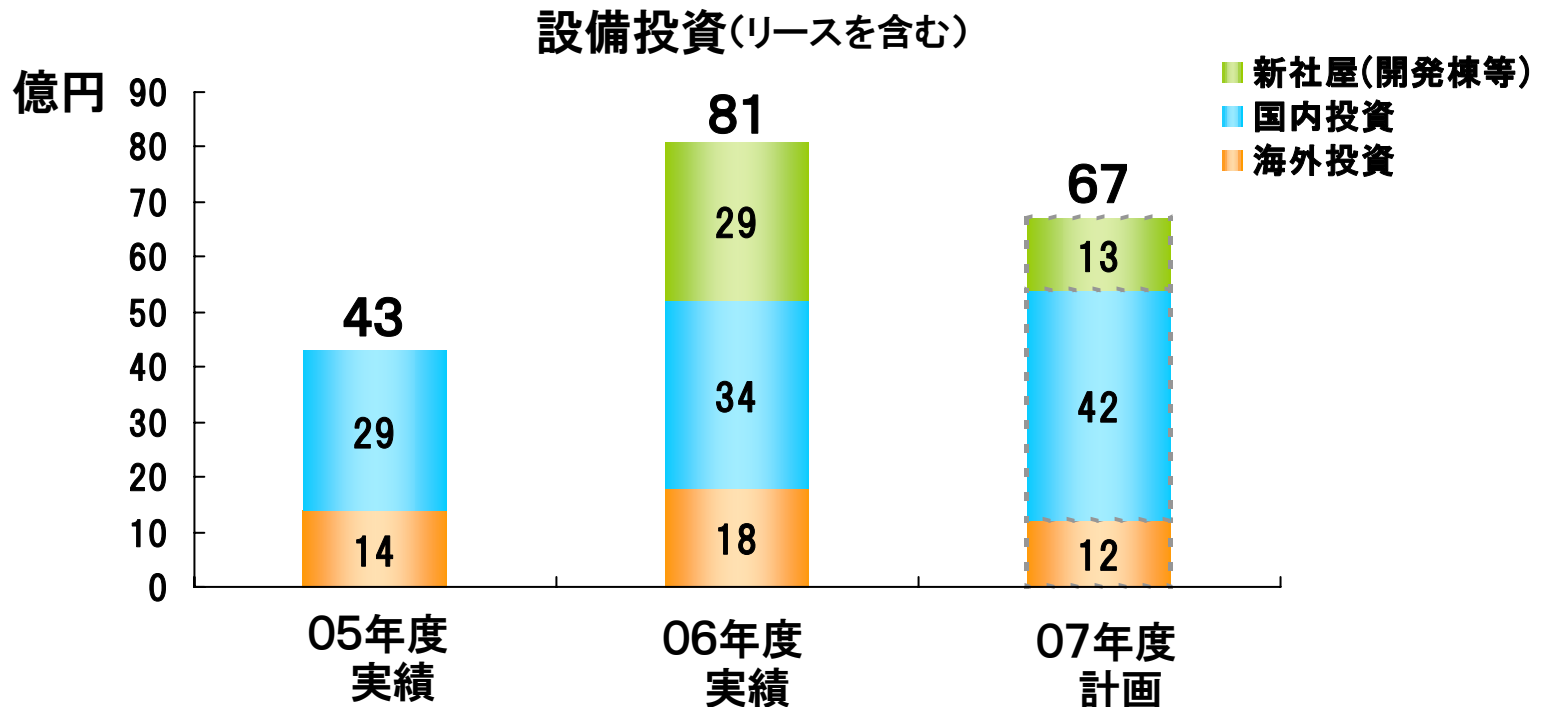
- 訪問販売体制を更に縮小。中低価格帯商品を軸に海外新市場を開拓、国内は直販新チャネルを構築
- 中低価格帯商品開発投資を拡大
- 海外生産拠点の統合は06年度中に完了

成長投資を推進



07年度は、06年度を10億円以上上回る計画

海外投資は一段落、国内投資は拡大。新社屋(開発棟等)建設は08年度以降に本格化



【延床面積】

現在の開発棟: 約11,000㎡	⇒	新開発棟: 21,000㎡
現在の事務棟: 約 8,500㎡	⇒	新事務棟: 12,000㎡
合計 : 約19,500㎡	⇒	合計 : 33,000㎡

開発棟を
大幅増床

1. 国内訪問販売体制

- 07年4月、訪問販売部門を分社化(JUKI家庭製品株)。更に不採算店舗対策を推進

(単位:店、人)

	05年4月	06年4月	07年4月
支店数	143	111	77
人員	1,538	1,417	834

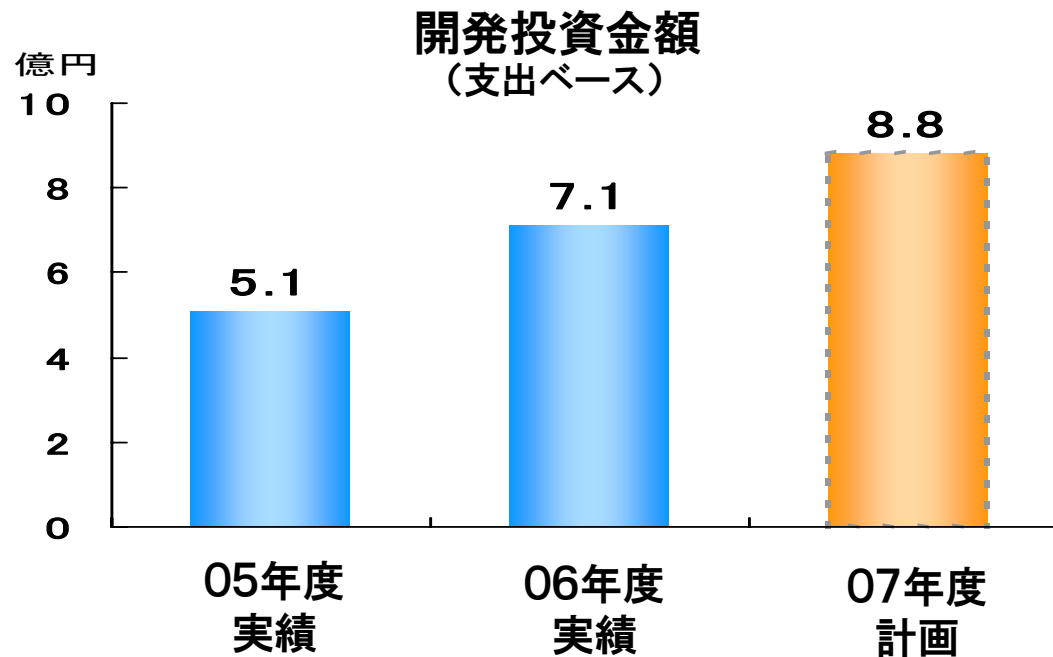
(単位:億円)

	05年度実績	06年度実績	07年度計画
売上高(うちミシン)	123(77)	83(55)	54(37)

2. 他の販売ルート拡大策

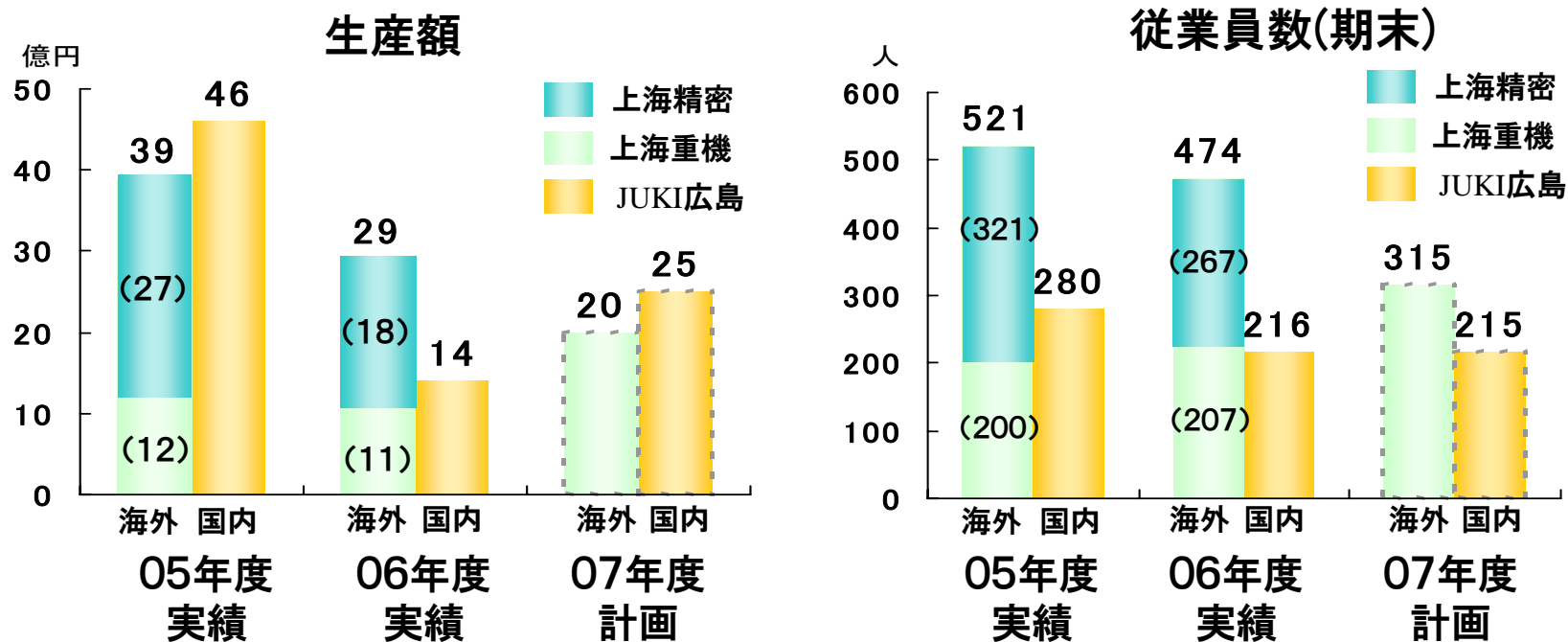
- 工業用ミシンのブランド・販路を活用し、海外新市場を開拓
- 量販店、直営ショップ(そーいんぐ・ぎやらりー・JUKI)、通販等、新チャネルを開拓
- OEMによる海外販売の推進

商品群拡大投資を推進



中低価格帯商品の品揃え拡充のため、開発投資を更に拡大

中国の生産体制を縮小し、国内移管を推進



06年度に中国2拠点を統合。組立3拠点体制を内・外各1拠点体制に再編。
高・中級機種を国内にシフト

売上高は減少するが、営業利益・経常利益は前年並みを確保

単位：百万円

	06年度 実績	07年度 通期予想	前年度比 増減
売上高	140,497	138,000	△ 2,497
営業利益	12,995	13,000	+ 5
経常利益	11,962	12,000	+ 38
当期純利益	6,594	6,600	+ 6

工業用マシン、産業機器は増収。家庭用マシン、電子・精密、その他は減少

単位：百万円

	06年度実績	07年度通期予想	前年度比増減
工業用マシン	73,459	76,700	+ 3,241
産業機器	31,388	32,700	+ 1,312
家庭用マシン※	8,599	7,000	△ 1,599
電子・精密機器	16,704	12,200	△ 4,504
その他※	10,345	9,400	△ 945
売上高合計	140,497	138,000	△2,497
※うち訪問販売 の合計	8,344	5,400	△ 2,944

工業用マシンは増益となるが、他のセグメントは減益。全体では前年並み

単位:百万円

	06年度実績	07年度通期予想	前年度比増減
工業用マシン	11,670	12,900	+ 1,230
産業機器	2,922	2,600	△ 322
家庭用マシン※	△ 1,458	△ 1,900	△ 442
電子・精密機器	1,828	1,200	△ 628
その他※(消去含む)	△ 1,967	△ 1,800	+ 167
営業利益合計	12,995	13,000	+ 5
※うち訪問販売の合計	△ 517	△ 1,400	△ 883

単位:百万円

	07年度中計	07年度通期予想	中計差
工業用マシン	63,600	76,700	+ 13,100
産業機器	28,900	32,700	+ 3,800
家庭用マシン※	17,100	7,000	△ 10,100
電子・精密機器	21,500	12,200	△ 9,300
その他※	13,900	9,400	△ 4,500
売上高合計	145,000	138,000	△ 7,000
※うち訪問販売 の合計	16,100	5,400	△ 10,700

		中計	07年度計画
為替レート	1ドル=	¥102	¥114
	1ユーロ=	¥132	¥152

工業用マシン、産業機器が中計比大幅増。家庭用マシン・その他は訪問販売の縮小により、電子・精密は採算見直しにより、ともに大幅減

単位:百万円

	07年度中計	07年度通期予想	中計差
工業用マシン	4,900	12,300	+ 7,400
産業機器	2,800	2,200	△ 600
家庭用マシン※	900	△ 1,900	△ 2,800
電子・精密機器	1,900	1,200	△ 700
その他※(消去含む)	△ 500	△ 1,800	△ 1,300
経常利益合計	10,000	12,000	+ 2,000
※うち訪問販売 の合計	800	△ 1,400	△ 2,200

		中計	07年度計画
為替レート	1ドル=	¥102	¥114
	1ユーロ=	¥132	¥152

他のセグメントの未達を工業用マシンが吸収、全体で中計比20億円の増

財務基盤の充実に図りつつ、株主還元を推進

05年度

- ・04年度の4円/株から、6円/株に増配

06年度

- ・中間3円/株、期末7円/株の年10円/株に増配

07年度

- ・06年度に引き続き、年10円/株を維持

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。
従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

JUKI株式会社

お問合せ先： 総合企画部 担当：山田

TEL :03-3480-1742 FAX :03-3480-9734

ホームページURL: <http://www.juki.co.jp/>